

株主のみなさまへ
第65期 報告書

(2017年(平成29年)12月1日から2018(平成30年)11月30日まで)



アスカ株式会社

証券コード：7227

目次

ごあいさつ	2
連結決算ハイライト	3
セグメント別概況	5
連結財務諸表	7
事業トピックス	11
会社概要	13
株式の情報	14



ASKA

CORPORATION

社名の由来

日本の文化や工業が発祥した飛鳥時代を連想させ、アスカの「文化」をつくり、「人と技術」に優れた会社になりたいという思いがこめられています。また、国際化時代への意気を込めて、日本生まれ、日本育ちの企業らしく、日本語を語源としながらも発音しやすい「アスカ」としました。

■ 株主のみなさまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

第65期の報告書をお届けするにあたり、平素のご支援に対し心から厚くお礼申し上げます。

当期につきましては、次頁の連結決算ハイライト以降に示しましたとおりの経営成績とすることができました。

世の中のあらゆる技術が急速に変化していくなかで、アスカグループだけがそのまま変化せずに継続していくことはあり得ません。

アスカをはじめとするグループ各社は、これからどのような経営環境に直面することになっても変化に対応して持続発展し続けていく必要があります。

—昨年より、配電盤事業の製造拠点として完成させた高浜工場を初め、国内最大級となる3500トントランスファープレスの導入。また、設計技術者を育成する教育事業や派遣事業を目的とする(株)MIRAI-LABの設立と、アスカにとって事業戦略を進めるための大きな投資をしてまいりました。

そして、本年度はその投資をカー一杯に展開する年となります。投資した経営資源を効率よく使って効果を出していく次第です。

2019年の全社スローガンを「入りを計りて 出ざるを制す」としました。

事業を積極的に展開し、製造力・技術力の強化を図り、実行した投資の効果が出るように、社員がそれぞれの立場で考え、工夫をし、計画的に仕事に取り組むことを実践してまいります。

また、新技術、新商品、新事業分野の開発にこれまで以上に力を注いでまいります。

なお、業績の結果を踏まえ、期末の配当につきましては、1株につき19円とさせていただきますので、中間配当8円と合わせ、年間27円の配当となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年2月



代表取締役会長
片山敬勝



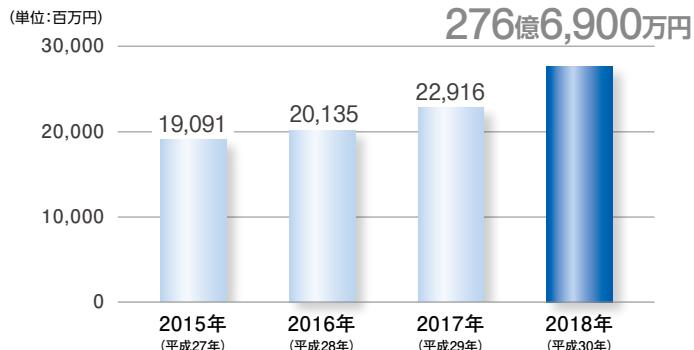
代表取締役社長
片山義規

連結売上高

前期比

20.7%増 ↑

「自動車部品事業」においてインドネシア現地法人で新車種の立上げに伴い部品及び金型売上が増加した結果、売上高は前期比20.7%増の276億6,900万円となりました。



連結営業利益

前期比

91.4%増 ↑

「自動車部品事業」においてインドネシア現地法人の売上が増加したことと「ロボットシステム事業」において原価率が改善した結果、営業利益は前期比91.4%増の12億8,300万円となりました。

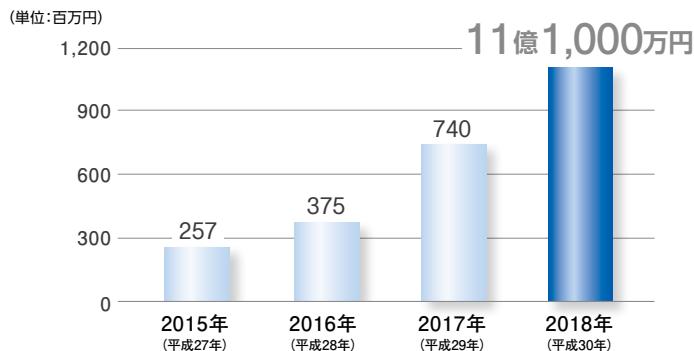


連結経常利益

前期比

50.1%増 ↑

経常利益は前期比50.1%増の11億1,000万円となりました。

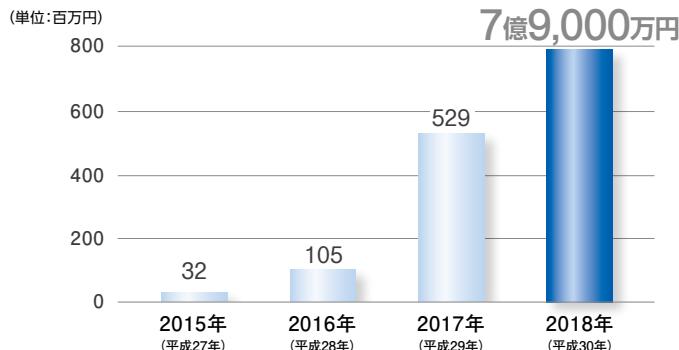


連結当期純利益

前期比

49.3%増 ↑

前期比49.3%増の7億9,000万円となりました。



自己資本比率

前期比

1.3ポイント減 ↓

前期比1.3ポイント減の20.1%となりました。

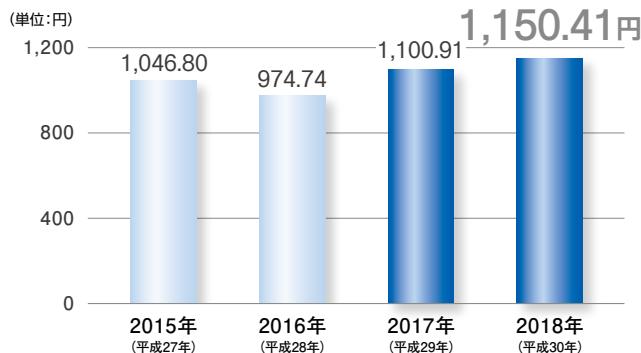


1株当たり純資産

前期比

4.5%増 ↑

前期比4.5%増の1,150.41円となりました。



自動車部品事業

売上構成比
64%

売上高

182億1,700万円

(前期比 25億100万円増)

営業利益

5億2,200万円

(前期比 3億5,100万円増)

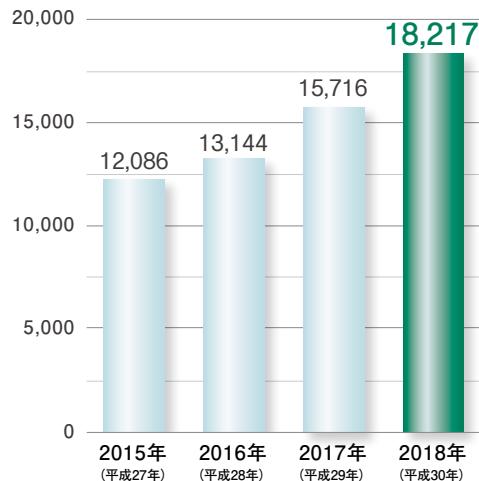


国内では、新型車の生産開始により、部品売上が増加しました。

海外では、新型車が一昨年9月から生産を開始したことにより部品売上及び金型売上が増加しました。

売上高は182億1,700万円(前年比115.9%増)、営業利益は5億2,200万円(前期比205.1%増)となりました。

(単位:百万円)



配電盤事業

売上構成比
10%

売上高

27億3,600万円

(前期比 3億5,200万円増)

営業利益

5,200万円

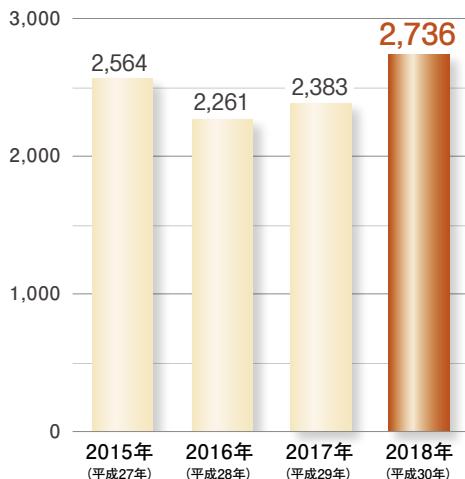
(前期比 3,700万円減)



主要得意先以外の件名品の受注が増加したため売上が増加しました。

売上高は27億3,600万円(前期比114.8%増)、営業利益は昨年に引き続き高浜工場への移設に伴い経費及び減価償却費の増加により5,200万円(前期比41.4%減)となりました。

(単位:百万円)



ロボットシステム事業

売上構成比
20%

売上高

58億2,000万円

(前期比 20億2,300万円増)

営業利益

6億1,400万円

(前期比 2億5,600万円増)

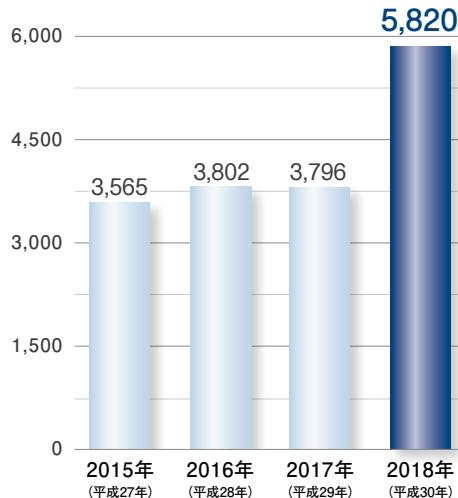


自動車部品メーカーの国内及び海外工場向け自動化システムの受注が増加しました。

今期から子会社である株式会社ジャスティスを連結対象に含めた結果、売上が5億円増加しております。

売上高は58億2,000万円(前期比153.3%増)、営業利益は6億1,400万円(前期比71.8%増)となりました。

(単位:百万円)



モータースポーツ、賃貸及び太陽光事業

売上構成比
6%

売上高

17億6,600万円

(前期比 5億1,500万円増)

営業利益

9,100万円

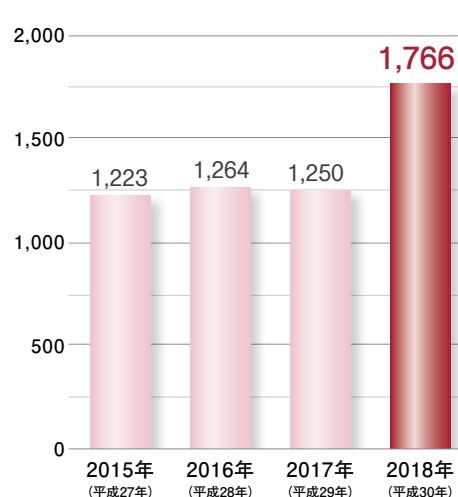
(前期比 4,100万円増)



各種イベントの企画やサーキットの整備により集客を図りました。また、新規事業として貸し駐車場ビジネス「カーセラー」を展開するなどの受注展開をしました。売上高は13億400万円(前期比108.1%増)となりました。

高浜工場での太陽光発電を開始しました。太陽光発電容量は2メガワットとなり、売上高は4億6,100万円となりました。

(単位:百万円)

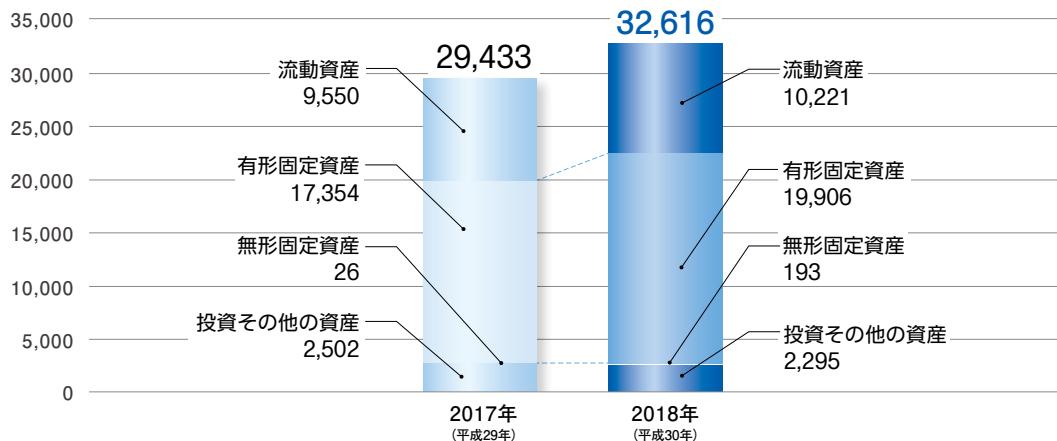


連結貸借対照表(要約)

(2018年(平成30年)11月30日現在)

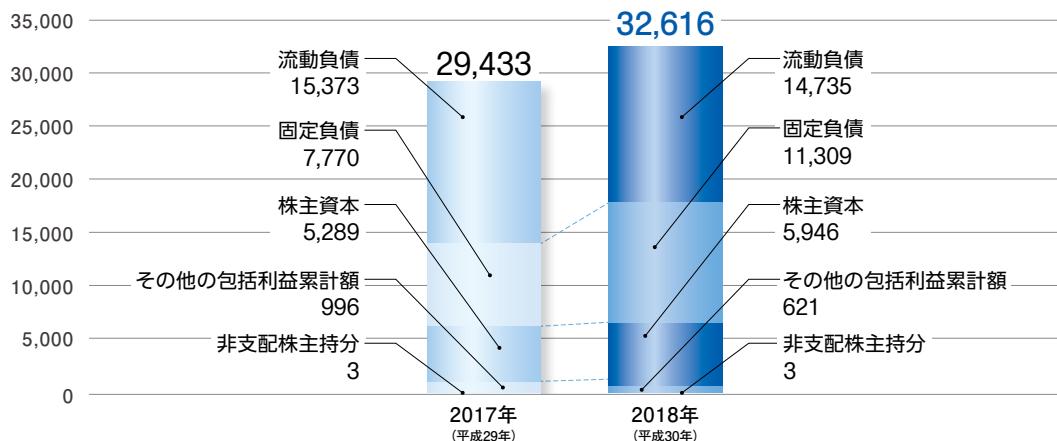
● 資産の部

(単位:百万円)



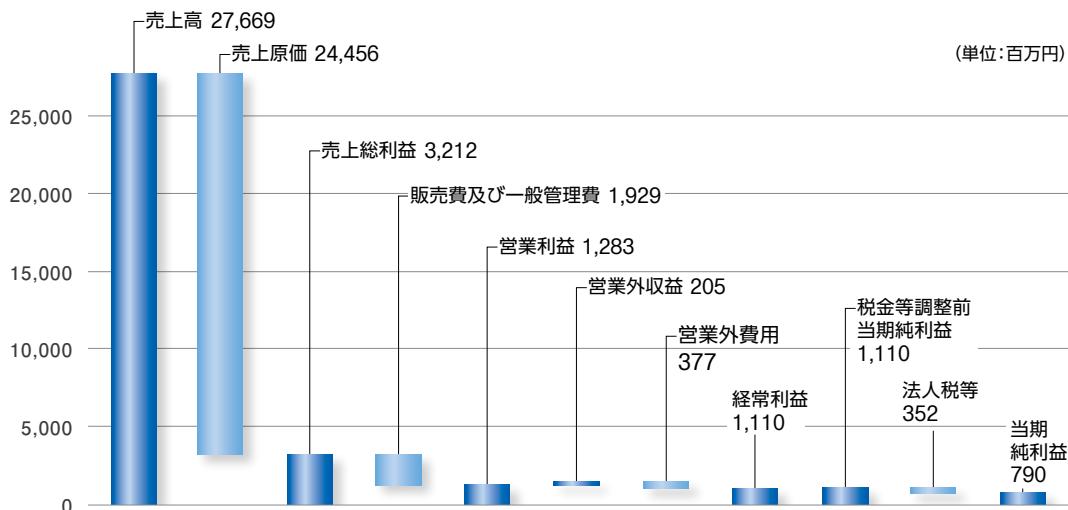
● 負債の部

(単位:百万円)



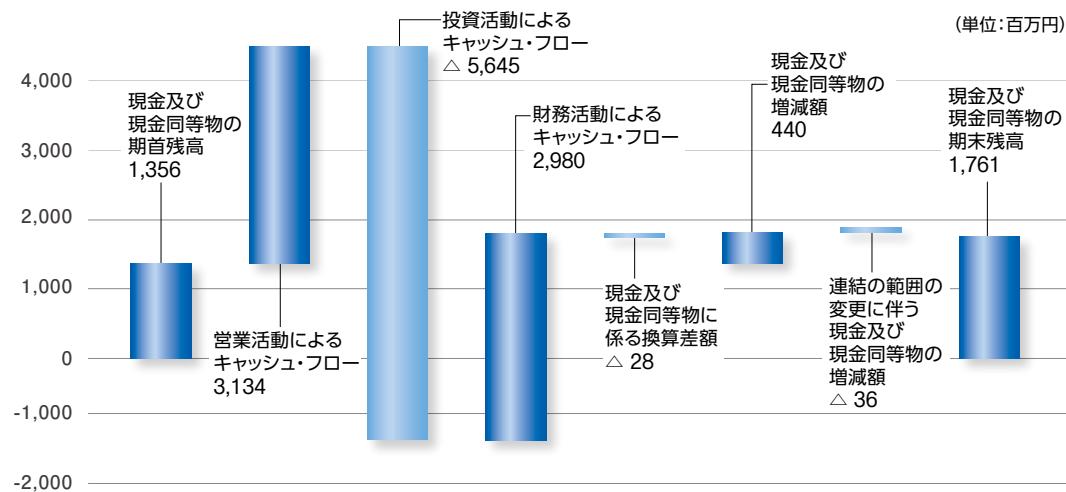
連結損益計算書(要約)

(2017年(平成29年)12月1日から2018年(平成30年)11月30日まで)



連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(2017年(平成29年)12月1日から2018年(平成30年)11月30日まで)



● 連結貸借対照表(要約)

(2018年(平成30年)11月30日現在)

(単位:千円)

科目	前期	当期
資産の部		
流動資産	9,550,066	10,221,427
現金及び預金	1,356,933	1,761,115
受取手形及び売掛金	3,898,852	4,779,560
商品及び製品	117,404	146,047
仕掛品	2,770,923	2,035,658
原材料及び貯蔵品	297,300	360,775
繰延税金資産	88,697	107,459
その他	1,019,955	1,030,810
固定資産	19,883,147	22,395,127
有形固定資産	17,354,402	19,906,127
建物及び構築物	6,927,148	8,365,931
機械装置及び運搬具	3,024,764	4,635,232
土地	4,881,753	5,643,312
建設仮勘定	2,020,204	737,109
その他	500,531	524,541
無形固定資産	26,469	193,412
投資その他の資産	2,502,275	2,295,587
投資有価証券	1,809,224	1,486,736
長期貸付金	38,530	59,799
繰延税金資産	12,330	59,839
退職給付に係る資産	61,841	32,636
その他	580,348	656,576
資産合計	29,433,213	32,616,555

科目	前期	当期
負債の部		
流動負債	15,373,175	14,735,593
支払手形及び買掛金	2,369,119	2,867,218
電子記録債務	2,250,953	1,812,931
短期借入金	4,341,188	4,340,000
1年内返済予定の長期借入金	1,985,178	2,701,588
リース債務	966,083	182,041
未払法人税等	118,517	276,726
賞与引当金	22,444	39,076
前受金	1,090,096	1,144,959
設備支払手形	1,501,125	3,185
その他	728,466	1,367,864
固定負債	7,770,585	11,309,486
長期借入金	5,914,104	8,889,836
リース債務	636,762	1,195,498
繰延税金負債	44,315	—
役員退職慰労引当金	341,915	353,665
損害補償損失引当金	35,000	35,000
退職給付に係る負債	737,150	774,774
その他	61,336	60,710
負債合計	23,143,760	26,045,079
純資産の部		
株主資本	5,289,341	5,946,924
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	900,780	900,780
利益剰余金	3,488,288	4,145,871
自己株式	△ 3,569	△ 3,569
その他の包括利益累計額	996,395	621,469
その他有価証券評価差額金	782,683	547,010
為替換算調整勘定	194,688	78,090
退職給付に係る調整累計額	19,023	△ 3,631
非支配株主持分	3,716	3,082
純資産合計	6,289,452	6,571,476
負債純資産合計	29,433,213	32,616,555

● 連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

(2017年(平成29年)12月1日から2018年(平成30年)11月30日まで)

科目	前期	当期
売上高	22,916,311	27,669,588
売上原価	20,655,198	24,456,992
売上総利益	2,261,112	3,212,595
販売費及び一般管理費	1,590,611	1,929,514
営業利益	670,501	1,283,080
営業外収益	261,116	205,276
営業外費用	191,390	377,478
経常利益	740,227	1,110,879
特別利益	93,917	—
特別損失	600	—
税金等調整前当期純利益	833,544	1,110,879
法人税、住民税及び事業税	303,849	352,712
法人税等調整額	529	△ 32,044
当期純利益	529,165	790,211
非支配株主に帰属する当期純損失	△ 168	△ 340
親会社株主に帰属する当期純利益	529,334	790,551

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

(2017年(平成29年)12月1日から2018年(平成30年)11月30日まで)

科目	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	105,641	3,134,134
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,761,516	△5,645,235
財務活動による キャッシュ・フロー	2,674,087	2,980,603
現金及び現金同等物に 係る換算差額	123,114	△28,961
現金及び現金同等物の 増減額	△858,672	440,541
現金及び現金同等物の 期首残高	2,215,605	1,356,933
現金及び現金同等物の 期末残高	1,356,933	1,761,115

(株)MIRAI-LAB設立

設計・エンジニアリング・人材育成事業を中心とする新しい会社(株)MIRAI-LABを名古屋駅前JRゲートタワーに設立しました。

設計技術に携わっているからこそ発見・提案できる、新しい価値観を創出する未来ある企業です。

設計技術のみならず、それに伴うエンジニアの教育も充実させ、お客様のニーズに合わせた設計技術者の育成や紹介・派遣ができる会社を、名古屋駅前という利便性を活用し目指してまいります。



産業用ロボット操作ができる人材育成

昨今の人材不足を背景に、産業用ロボット導入による自動化が進んできています。しかし産業用ロボットの教示操作を行うためには規則に基づいた教育を受講することが必須です。

アスカでは、労働安全規則36条第31号に基づいた安全教育(産業用ロボットの教示等の業務に関わる特別教育)を行う教室を開講し、受講者には特別教育修了証を発行しております。



3500トントランスファープレス稼働スタート

国内最大級となる3500トントランスファープレスの本格稼働がスタートしました。

「軽量化」「安全性向上」のニーズに対応するためのスーパーハイテン材の加工を可能にして幅広い部品の製造を行うことができるため、他社を凌ぐ能力で競争力アップを図っていきます。



AS刈谷 愛知県1部リーグ準優勝、東海社会人サッカートーナメント大会出場

愛知県1部リーグに昇格したアスカのサッカークラブチーム「AS刈谷」は、更なる躍進をし、リーグ準優勝・第53回(2018年度)東海社会人サッカートーナメント大会への出場を果たしました。

東海2部リーグへ昇格がかかる東海社会人サッカートーナメント大会では、惜しくも決勝で負けてしまいましたが、次へ繋がる大きな道を築くことが出来ました。



会社概要

社名	アスカ株式会社
英文社名	ASKA CORPORATION
設立	1953年(昭和28年)12月25日
資本金	903,842,275円
社員数 (2018年(平成30年) 11月30日現在)	570名 非常勤3名、子会社への 出向者23名は含まれておりません
取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、 愛知銀行、三重銀行、商工組合中央金庫、 岡崎信用金庫、大垣共立銀行、十六銀行、 みずほ銀行、百十四銀行、 三菱UFJ信託銀行、百五銀行、 信金中央金庫

事業所

本社 本社工場	〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地 TEL 0566-36-7771 FAX 0566-36-8090
幸田工場	〒444-0122 愛知県額田郡幸田町大字六栗字平松14番7 TEL 0564-62-6511 FAX 0564-62-6542
高浜工場	〒444-1301 愛知県高浜市新田町三丁目1番地3 TEL 0566-54-2435 FAX 0566-54-2436
豊田工場	〒473-0923 愛知県豊田市中根町大切50番地1 TEL 0565-51-2755 FAX 0565-52-1245

事業内容

自動車部品事業	ピラー、サイドルーフレール、 フロアクロス、ルーフボウ、 ラジエーターサポート、 エンジンマウント等
配電盤事業	分電盤、制御盤、FAボックス、 盤用キャビネット等
ロボットシステム事業	産業用ロボット「ユニロボ」、 自動化システム、制御装置、 情報通信機器等
モータースポーツ事業	岡山国際サーキットの経営
賃貸及び太陽光事業	倉庫・工場の賃貸業務、 太陽光発電による電力の売却

役員

(2019年(平成31年)2月27日から)

代表取締役会長	片山 敬勝
代表取締役社長	片山 義規
専務取締役	竹之内敏昭
常務取締役	片山 義浩
常務取締役	太田 雅文
常務取締役	神谷 政志
取締役	杉本 篤哉
取締役	清水 達司
取締役	杉浦 隆浩
取締役(常勤監査等委員)	内田 陽造
社外取締役(監査等委員)	丹治 正幸
社外取締役(監査等委員)	関 裕昭

株式の状況

(2018年(平成30年)11月30日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,715,420株
株主数	764名

大株主の状況

(2018年(平成30年)11月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社CIS	1,052,600	18.41
ニチアス株式会社	928,440	16.24
片山敬勝	283,740	4.96
株式会社三井住友銀行	281,600	4.92
アスカ社員持株会	187,060	3.27
株式会社三菱UFJ銀行	150,000	2.62
株式会社愛知銀行	144,000	2.51
片山義規	121,700	2.12
株式会社三重銀行	114,000	1.99
株式会社商工組合中央金庫	114,000	1.99

株主メモ

事業年度	12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主 確定日	11月30日
中間配当金受領株主 確定日	5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 </div>
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第二部
証券コード	7227

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要があります。

公告の方法

電子公告により行います

◎ 公告掲載URL

<http://www.aska.co.jp/kessan/index.html>

ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

注意

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本店でお支払いいたします。



アスカ株式会社

E-mail : aska-infomation@aska.co.jp

ホームページのご案内

<https://www.aska.co.jp>

アスカ株式会社のホームページでも、IR情報(投資家様向け情報)をご覧ください。ぜひ、こちらもご利用ください。

